



芦安中学校だより

第 2 号

校長 石原敬彦

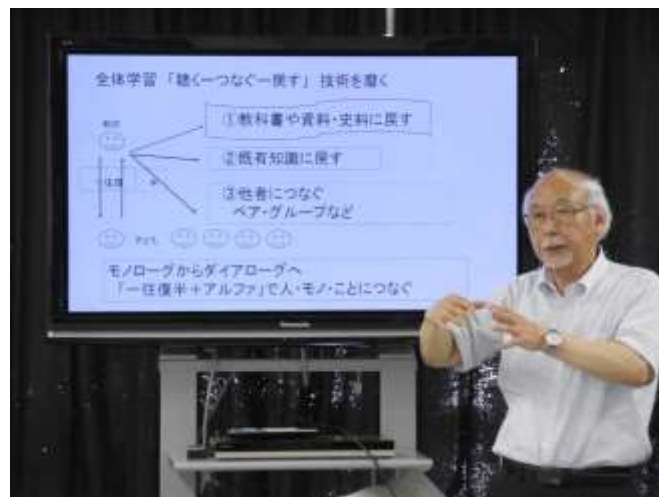
2018. 5. 28

第 1 回授業研究会を行いました！今年も授業改善に取り組みます。

5月16日、昨年度に引き続いて講師に元岳陽中学校校長の佐藤雅彰先生をお招きして、授業研究会を行いました。今回は芦安小学校との共同開催という形を取り、講師の佐藤先生には3校時に小学校の6学年すべての授業を、4校時と6校時に中学校の3学年の授業を2回ずつ見ていただきました。また、5校時には本校の佐久間和之教諭が3年生で理科の研究授業を行い、小中の職員で参観しました。授業の終盤では3年生6人がサークルを作り、実験結果から考えられることがらについて対話し、真摯に探究しあう姿があり、3年生の大きな成長を感じました。3時30分より5時15分まで小中合同の形で研究会を行い、5校時の理科の授業で学んだことを交流した後、講師の佐藤先生に芦安小中の授業全般についてと現在文科省の進めている「主体的・対話的で深い学び」についてご講義をいただきました。今回は南アルプス市教育委員会、身延町教育委員会からもご参加をいただき、八巻指導主事と今村教育委員には研究会で佐藤先生とともにご指導をいただきました。芦安中の19名の生徒一人ひとりが「創造的で探究的な学び手」として成長することを目指して、私たち教師も学び続けていきます。



☆思考力・判断力・表現力を育てるために周到に用意された佐久間教諭の授業と真剣に学び合う3年生



☆昨年から4回目になる佐藤先生のご指導。小中の職員で考えを交流し、学び合う研究会となりました。

芦安中学校が目指している授業 ⇒ 3つの要素を満たした2段構成の授業

3要素 ①「活動があること」②「協同する場面があること」③「全体で共有する場面があること」
2段構成 前半は基礎・基本を習得する(共有) 後半は高いレベルの課題に挑戦する(ジャンプ)

生徒に身に付けてほしい学習作法 ⇒ 創造的で探究的な学び手になるために

①わからない時、わからないと言えるようになる ②わからない時は自分から行動を起こしてやりかたを訊く ③友だちに訊かれたら相手が納得するまで精一杯応える

新緑やまぶき祭へのご協力ありがとうございました。

5月13日、新緑やまぶき祭が開催されました。本校は、恒例になった各ブースへのインタビューと合唱で参加しました。また、有志がバンド演奏を披露しました。芦安小学校との合同合唱は、メインステージで2曲発表する予定でしたが生憎の雨のため、急遽小学校のホールでの発表となりました。保護者の皆様にはPTAとして焼きそばの出店をしていただきました。身延線開通90周年で芦安を訪れる人たちの参加も予想されとのことで、例年よりも食数を増やしての出店で、大変ご苦勞をいただきました。5月2日夜の準備会議も含め、当日も早朝よりのご協力本当にありがとうございました。



職員による読み聞かせを始めました。

芦安中では毎朝、特別な場合を除いて8時25分より35分までの10分間、「朝読書」を行っています。その時間は生徒も職員も全員静かに読書。校舎内は清潔な静寂に包まれ、聞こえてくるのは、せせらぎ、風、雨の音、そして鳥のさえずりと自然界からの音だけ・・・この時間を使い、今年度は新たに、月に2回程度、職員による読み聞かせを実施することにしました。第1回の5月17日は、司書の先生が3年生に、教頭先生が2年生に、校長が1年生にそれぞれ読み聞かせを行いました。今後も職員が順番に各教室を訪問していきます。生徒が本に興味を持ち、本好きになり、たくさん本を読むようになることの一助になれば・・・それから本をとおしての心のふれあいの場になれば・・・ささやかな取り組みではありますが、そんな想いを大切に続けていきます。



毎週金曜日、「合同朝の会」の中で英語のスピーチに取り組んでいます。

毎週金曜日、通常はクラスごとに行っている朝の会を全校で行っています。従来より司会の進行や連絡を可能な限り英語で行ってききましたが、今年度は、毎回各学年から1人ずつ、そして職員からも1人、合計4人が英語でスピーチをしています。内容は自由としていますが、英語でいうところの”Show and Tell”，自分が紹介したいものについて、実物や写真、絵などを使いながら英語で話すスタイルが多いです。大切にしているオルゴールを見せたり、実際にサッカーボールでリフティングを披露したりする発表もありました。〇〇教諭(写真 右)は大好きな果物「みかん」について、手描きの絵を使いながら英語で堂々と、かつ楽しく語り、大きな拍手を浴びていました。生徒が発表するスピーチの原稿は事前にALTの先、今後も生徒・職員ともにレベルアップに取り組んでいます。

